Shodai365
Okayama Shoka University
学報2015/3月号
Vol.105
岡山商科大学学報
2015年(平成27年)3月13日発行

創立50周年によせて

岡山商科大学 学長 井尻 昭夫

２０１５年、新しい年を迎え３か月がたちました。本年こそはと新たな展開に努力することを誓った方々も多いものと考えます。時の流れは一様にして変わるものではありませんが、やはり新年を迎え、ひとつの節目として気持ちを新たにされた方も多いことでしょう。

本学にとって本年は、創立50周年を迎えるだけに、なおさらのことです。

ところで、昨年には大きな出来事がありました。日本人のノーベル賞受賞者が３名誕生したことはいろいろな意味をもたらしました。その一つは、小さな日本から受賞者が出たこと。人口比率の割合から考えても、日本人として世界屈指の優秀な民族であるという自負を抱きました。もちろん、アジアの中においても誇るべきことでありましょう。「小国、日本」といわれようとも、我々日本人はもっと自信を持つべきなのかと考えるにいたっています。というのも、中国の大学は２万、３万の学生を抱えているのが普通であり、本学のような２０００人足らずの大学は、中国にとって１学部に相当する規模、否応なく無意識に引け目を感じていたからです。中国を訪問したとき、貴国の人口は13億人、わが国は１億人あまり、何事も13分の１として考えてください、と笑い飛ばしてこのコンプレックスを跳ね除けてきたものです。

本学は小さな大学ではありますが、これまで質こそが重要であると考えてまいりました。本年も引き続き、学生諸君をどのように磨き上げるかに専念していきたいと考えています。

おかげさまで、昨年も文部科学省の私立大学等改革総合支援事業に採択され、最先端の教育環境を整備充実させることができました。チョークと黒板の時代から情報機器をフルに活用した新しい教学体制の構築を行うとともに、模擬法廷の教室を設けることもできました。

新しいものだけでなく、旧来からの取り組みである慶應丸の内シティキャンパスから配信される夕学講座は12年、経営団体からの支援で実現した経営学特殊講義は20年の歴史を有するに至りました。両講座に代表されるように、本学では大学と社会との垣根をバリアフリーにし、本学で学んだ学生がいち早く社会に溶け込める教育環境の整備を図っています。

こうした外から内への流れとともに内から外への働きかけとして、本年もフィールドスタディに力を入れていきます。今でこそ、グローバリゼーションが取り上げられていますが、本学はその流れに先駆け、数年前からすでに海外に研修の場を設けています。海外での実体験が学生諸君の視野を広め、国際化に向けた一歩として結実することを願ってのことです。

人間の幸せの追求は、①原始時代、②農業時代、③工業時代、④知的財産の時代、の各時代においてその手段が変化してきています。第４の時代に突入している今日、「知的財産」は重要ではあるものの、閉鎖的かつ受動的な学びでは幸せはやってくるものではありません。われわれは自ら行動し、実体験を得ることで、一層、学習の成果が上がるものと考えております。このために、可能性を追求することのできる教育環境の整備とともに、積極的かつ能動的な学習体制の更なる改革にまい進したいと考えます。

特に、本年、本学は50周年を迎えます。これまでの流れの上に、時代にふさわしい教育環境を整備いたし、学生諸君の学びの館の充実に尽力してまいりたいと考えています。

創立50周年記念・キャンパスリニューアル計画 イメージ図

CONTENTS

＜商大トピック＞
●大学機関別認証評価の受審　●私立大学等改革総合支援事業の採択
●ESD-J国際ワークショップ開催
＜情報アラカルト＞
●山陽新聞賞教育功労受賞　●部活動の主な戦績　●創立50周年記念式典・整備事業

「商大トピック」

Topic 1

ESD-J 国際ワークショップ 開催

2014.10.8

本学では、岡山市との間でESD（持続可能な開発のための教育）に関する協定を締結し、京山地区におけるESD活動への協力などを行っています。

平成26年10月～11月には、「ESD推進のための公民館−CLC国際会議」や「ユネスコスクール世界大会」などの国際会議が開催されました。

CLC国際会議に先立ち、認定NPO法人「持続可能な開発のための教育の10年」推進会議（ESD-J）が主催する国際ワークショップ「生物多様性を踏まえたアジアの持続可能な農山村社会の形成」が10月8日に岡山県国際交流センターで開催され、本学は岡山市と共に運営に協力しました。

国際ワークショップでは、インド西北部グジャラータ州のGRAM NIDHIにおいて、生物多様性の保全をコミュニティで実現した取り組みを分析して作成したトレーニング・モジュールについて詳細な説明があり、高齢化問題などで持続可能性について課題を持つ、アジアの他の国々における適用可能性等について検討を行いました。

その中で、日本の事例として、本学が包括協定を結んでいる真庭郡新庄村において、環境に配慮したアイガモ農法に長年取り組まれた三鴨宏宜氏が、本学経営学部岸田芳朗教授の支援のもと、日本の事例を報告しました。

質疑応答の中で、学生がフィールドスタディとして、地域の活動に参画していることについて、海外からの参加者から高く評価する意見が述べられました。（運営協力:三好　宏、松浦芙佐子、大石貴之、中村　裕、中川尚子、大﨑紘一）

（産学官連携センター）

Topic 2

留学生歓迎会について

2014.10.10

毎年行われている留学生歓迎会が今年も10月10日（金）に開催されました。

留学生歓迎会は、後期に入学する留学生の方を歓迎し、楽しんで頂くとともに、交流の場として毎年開かれています。

歓迎会が始まると、井尻学長、大﨑副学長、在学生の先輩たちから歓迎の言葉があり、今後の大学生活を送る上での励ましや注意の言葉が投げかけられました。今回の歓迎会では、バイキング形式の食事を用意し、在学生の先輩から、楽器の演奏や歌などが披露されました。

バイキングでは、様々な料理が用意され、食事をしながら参加者同士が交流を深めることができました。料理の中には、てんぷらや寿司などの日本食があり、留学生が楽しんでいる様子も見られました。

在学生の出し物では、中国の伝統的な楽器である二胡の演奏があり、中国以外の学生も他国の文化に触れられるとてもいい機会となりました。また、有名な歌を披露した留学生もおり、会場内では大いに盛り上がりを見せました。

出し物が終わり、参加者が歓迎会を一通り楽しんだところで、閉会へと移りました。閉会の挨拶では田中教学部長より、学生生活についてのアドバイスや日本文化についての話をされ、最後は一本締めにより歓迎会は終了となりました。日本食や一本締めなどの日本の文化に触れることができ、留学生にとって日本で生活するいいスタートとなったのではないかと感じています。参加者に楽しんで頂く事ができ、今年も留学生歓迎会は成功となりました。

今回の歓迎会で得られたことを次回からの歓迎会でも活かすと共に、より参加者に楽しんでもらえるよう工夫を凝らしていきたいと思います。

（学生課）

Topic 3

大学祭や講義でIR講演会
～大学生に勧めたいIR就活の方法～

2014.10.24、25

昨年10月24日、25日の二日間、岡山商科大学「大学祭」では初の「学生と投資家のための会社説明会」が開催されました。同大学の産学官連携センターが事務局となり、経営学部　近藤一仁の「基調講演」を皮切りに、二日間で3社のIR講演会が行われました。参加企業は、地元の上場企業から「萩原工業」（東証1部）の萩原邦章社長や「EJホールディングス」（東証2部）の小谷裕司社長のIR講演会に加え、初日には東京から東京証券取引所を運営する持株会社「日本取引所グループ」（東証1部）の多賀谷　彰広報IR部長も駆けつけ、講演会の共通テーマである『グローバル時代の元気印企業』や『地域活性化に挑む元気印企業』に沿った自社のIR活動に精力的に取り組みました。また、挙手による質疑応答形式ではなく、配布された質問票に聴きたい質問を記入して、司会進行役から会場に紹介し、講演者が回答するというユニークな手法も初めて導入されました。会場には初日が約100名、二日目が約50名と、大学祭初の試みながら、参加した学生や地元の投資家や企業関係者、大阪や広島からの来場者からも前向きなご評価を得たようです。岡山商科大学では「企業論Ⅰ」（前期）、「企業論Ⅱ」（後期）でも大学祭と同様のIR講演会が講義中に導入され、昨年は前期に「地盤ネット」（東証マザーズ）の山本　強社長、後期に地元の「ハローズ」（東証ジャスダック）の佐藤利行社長がゲスト講師として登壇しました。

IR講演会の狙いは、大学生に「IR就活」を勧め、企業の『採用情報欄』だけでなく、広範囲な企業のIR情報にも触れ、経営理念、事業戦略、中期経営計画、CSR（企業の社会的責任）、CG（コーポレートガバナンス）などを理解しつつ、就職活動を行ってもらおうという意図があります。今後もこのような経営トップからのIR講演会に多くの学生諸君が参加することを期待しています。

（経営学部　教授　近藤一仁）

Topic 4

講演会大災害と法の役割

2015.1.8

岡山商科大学学会公開学術講演会が、2015年1月8日（木）午後2時40分から772番教室で開催されました。

今年は阪神淡路大震災から20年という節目の年であることから、今年度の講演会は弁護士・津久井進氏をお招きして、「大災害と法の役割～被災者目線で災害復興とそのミッションに光を当てる～」というテーマのもと、ご講演いただきました。当日は、本学教職員・学生だけでなく、一般の方や行政関係者も含め150名を超える方々が熱心に受講されました。

津久井氏は、阪神淡路大震災でのボランティア活動および東日本大震災での弁護士活動のご経験から、被災者の生活目線に立ち、災害復興のための法のあり方という観点から、災害における法の役割の重要性を訴えられました。

（岡山商科大学学会）

Topic 5

第10回 岡山市北区京山地区ESDフェスティバル

2015.1.31、2.1

岡山市立京山公民館で開催された「第10回岡山市北区京山地区ESDフェスティバル」に本学からボランティア学生4名（周藝さん、徐暢さん、劉潘さん、石堂加奈さん）と教職員3名（中村裕、中川尚子、大﨑紘一）が参加しました。

同フェスティバルは、ESD（持続可能な開発のための教育）への理解を進めるために岡山市京山地区ESD推進協議会などが中心になって行うもので、今回で10年目を迎えます。本学から参加した中国からの留学生はイベント「ワールドカフェ・『世界のお祝いってどんなの?～世界のお菓子を食べてみよう～』」中で、中国の春節、端午節、中秋節についてパワーポイントを使い発表し、中秋にまつわるお菓子、「月餅」を来場者に食べてもらいました。また、小中学生を対象としてスタンプラリーを前回から企画提案し、200名ほどの子ども達に参加してもらうことが出来ました。スタンプラリー達成者にはESDに関するエコグッズ等が配られました。

（産官学連携センター）

Topic 6

新テレビCM 放送中!

2014年度から、テレビCMを刷新しました。

本学の学生4名が法学部、経済学部、経営学部商学科、経営学部経営学科それぞれの特長をパネルとともに紹介し、最後に地元就職に強いことをPRしています。

BGMも地元岡山のバンド、SILVER TONEさんに作詞作曲していただいています!

（総務企画課）

平成26年度　大学機関別認証評価の受審

平成19(2007)年に第1回の認証評価を受けてから、第2回平成26(2014)年の認証評価を受ける間での、大学の改革は飛躍的に加速している中での受審となった。今回の評価では、各大学の実施している教育内容、管理体制、特色ある教育活動を中心にして、4基準、さらに各基準に於いて複数の基準項目で記載する内容となった。特に基準2(学修と教授)では、9基準項目に（学生の受入れ、教育課程及び教授方法、学修及び授業の支援、単位認定、卒業・修了認定等、キャリアガイダンス、教育目標の達成状況の評価とフィードバック、学生サービス、教員の配置・職能開発等、教育環境の整備）の取り組み内容を、エビデンスを付して記載することが要求された。そこで、各学部学科、部局に執筆を依頼し、教育の現状、特徴などを明確に38頁にわたって記載した。特に現地調査において教育に関する基準2が最も重要と考え、質問を担当部署で受け、丁寧な回答をしたために、時間が不足し、追加に時間を設定して審査委員からのすべての質問に対応した。

その他は、沿革と現状、基準1(使命・目的)、基準4(自己点検・評価)は、大学全体に関係することであるので、自己点検・評価委員会で取りまとめを行った。また、基準3(経営・管理と財務)は、学校法人吉備学園に依頼し取りまとめを依頼した。基準A「特色ある学生教育」に関しては、「地域との連携による実践教育(フィールドスタディ)」と、「大学院進学教育による国際交流の推進」の2つのテーマについてまとめた。そして、「平成26年度大学機関別認証評価　自己点検評価書」として取りまとめ、評議会、理事会の承認を受け、6月初旬に日本高等教育評価機構に提出した。

そして、10月22日～23日に「現地調査」が行われ、特に基準2についての質問の中で、入学定員の確保、施設設備の安全に関しては、審査委員の方々から多様な質問がなされた。その他の基準については、大きな問題もなく対応ができたと考えている。

本年度の認証評価書をまとめる中で、大学の最も基本である学生の確保のために、教職員全員が真摯に取り組んで、今後さらに高校生の人数が減少する中で、本学の特色を生かした教育研究を進めなければならないことを痛切に感じた。審査結果は、平成27（2015）年3月に公表されるが、次の7年目に向けて目標設定をしながら日々の活動を進めていきたいと感じている。

（副学長　大﨑　紘一）

平成26年度　私立大学等改革総合支援事業の採択

平成26年度の私立大学等改革総合支援事業は、タイプ1(教育の質的転換)、タイプ2(地域発展)、タイプ3(産業界や他大学との連携)、タイプ4(グローバル化)の4つのタイプが示され、能動的教育であるアクティブラーニング(AL)の行える教育施設を中心にして、本学の教育の特色を更に高めるための施設を申請した。その結果、3つのタイプについて採択されたので、その内容について概略を示している。

（1）「ビジネスALR(アクティブラーニングルーム)」の整備

本施設は、ビジネス教育において、能動的教育であるアクティブラーニング(AL)ができるようにすることにより、独りよがりになりがちな学生に、グループとしてのまとまり、まとめ、発表等の能力を、IT技術の支援による専門教育と同時に修得できるようになり、本学の「教育の質の向上」に大きく貢献できる。

（2）「実践的法学教育のための模擬法廷」の整備

模擬法廷を整備することにより、生き生きとした法学教育を実施するとともに、岡山県内の私立大学では本学のみ設置されている法学部を、本学の進める実践教育を通して専門教育を実施できる体制の確立をする。岡山県県民生活部からは、特に県民の安心・安全にかかわる実践活動、人材(担い手)教育において、本施設を基本にして特に消費者教育に関する模擬裁判や、講義への参加、講演会の開催を特に依頼された。

（3）「グローバル教育ALR(アクティブラーニングルーム)」の整備

本施設は、タブレット端末や各自の端末に話す機能を付加することにより、最低限の会話を補助する機能を持たせて、話す機会を増やすことにより、語学教育を促進する。また、ALにすることにより、少人数教育となっている語学教育を、更に少人数グループに分けることにより、グループ毎の課題の提示と指導により能力に合わせた語学教育が可能となる。

（副学長　大﨑　紘一）

ゼミ活動の紹介

【経営学科合同ゼミ】　～商大野球部応援と名画鑑賞へ行く～

10月19日（日）入学前留学生の経営学科合同ゼミ(岩橋、陳、甲元先生)の22人は、岡山駅前の噴水場に思い思いの軽装姿で集合しました。早速、電車運行ボードを見ながら自分達でキップを買い、行き先を確かめてJR列車に乗り込みました。間もなく着いた中庄駅から、まずは最初の目的地のマスカット球場へ向かいました。うちの大学と環太平洋大学との野球公式戦の応援です。ネット裏のスタンドから、中国では見ることがない野球ゲームを初めて見ました。細かいルールはよく分かりませんが、うちの大学の選手たちはちょっと強い日差しの中とあの広いグラクドで、全員が団結し大声を掛けながら一生懸命に戦い、素晴らしい活躍ぶりでした。空高く飛んでいく白い球は最高で、自分もワクワクしました。野球の魅力はやはり感動でした。緊迫した試合ながらも優勢に展開し、うちの大学の勝利で終わり、皆とても嬉しかったです。野球の楽しさや魅力が少し理解できました。

次は、再び電車に乗って倉敷駅へ向かい、いよいよ倉敷美観地区へ入りました。やさしい男性ガイドさんの案内で、レトロな雰囲気漂う町並みにすっかり魅了されました。その日は地元の秋祭り行事の賑わいもあって、観光客はいっぱいでした。私たちも恍けた面を付けたお祭りの人に団扇で頭を撫でてもらって、幸せを呼ぶおまじないをたくさん貰いました。屏風祭りの展示も見ました。古い紡績工場の跡も歩きました。古くてきれいな建物もいっぱいあり、花も木も生き生きとして素晴らしい町でした。

最後は同じ美観地区にある大原美術館です。学芸員さんのウェルカムレクチャーを受けた後、世界でも有名な絵をいくつも見て、いい勉強になりました。特にモネの絵は大好きになりました。記念に絵ハガキも買いました。講義室の外に出て、「自分の目で見て、自分の耳で聞き、自分の手で触る」という甲元先生の教え通り、日本文化や岡山のことが勉強できて楽しい有意義な一日でした。日が暮れる頃、駅前噴水場の桃太郎さんに「また、明日ね!」とウインクして解散しました。

（入学前教育履修生　王冠威　曹蒙　鄭恵蘭）

2-4年ゼミの合同キャンプ

2014年6月7-8日、赤磐オートキャンプ場で1泊2日の于琳ゼミの2-4年生の合同キャンプを行いました。

キャンプの提案が上がった当初では、「めんどくさい、だるい」などの意見がありました。同じ4年の副ゼミ長上井敦と韓玉珊とゼミ担当の于林先生と相談した結果、することを決まりました。それから、2-4年のゼミ長会議を開き、具体的な実行案を提出しました。私がキャンプ場を探し、副ゼミ長韓玉珊が焼き肉屋のアルバイトの経験を生かして、バーベキュー用の食材、飲み物を安い店で予約、副ゼミ長上井敦が全員の金庫番で、食材、キャンプ用具を借りる費用の予算計画を作り、2,3年のゼミ長と副ゼミ長（3年ゼミ長：隅田幸司　副ゼミ長：荒木優輔、2年ゼミ長：岡田直也　副ゼミ長：藤井万理安）の当日の役割分担を決めました。

当日、ゼミ長と副ゼミ長らは食材、飲み物を購入し、予定時間で学校からみんなとバスで出発しました。キャンプ場に着き、みんな積極的自主的に動き出しました。男子が失敗を繰り返してテントを張り、火を起し、女子が慣れない手つきで食材を準備していました。それから、アルコールの力を借りて、学年に関係なく、国籍に関係なく、バーベキューパーティではしゃぎまわりました。

翌朝、みんな元気な声でお互いにあいさつし、昨日より一歩近づいた気がしました。2,3,4年のゼミ長たちと力を合わせ、みんなの協力のおかげで、事故、怪我がなく無事にキャンプを終えました。テントを張り、火を起し、食材の準備、肉・野菜を焼くなどの共同作業を通じて、協力、協調の大事さを体験ができました。また、キャンプ活動を通じて、団結能力、指導能力、コミュニケーション能力を高めたことは、就職活動に生かすことができました。

（4年生ゼミ長　濱崎　貴行）

演劇同好会の活動

2013年度の卒業生をもって部員が不在となったため，岡山商科大学演劇部は，一時，休部となりましたが，2014年度より部員6名（3年：4名，1年：2名）で同好会として再出発いたしました。

数少ない部員数ではありますが，「就実大学・就実短期大学演劇部，岡山商科大学演劇同好会」合同による，2014年度冬季合同公演『喫茶店戦争』（商大公演：11月下旬，就実公演：12月中旬）を計5日間の日程で開催させていただくことができました。

これもひとえに，卒業生の先輩方をはじめ，多くの方々のご支援のお蔭と，心より感謝しております。これからも一層努力を重ね，大学生活の良き思い出を創りあげていきたいと思っています。

【喫茶店戦争あらすじ】

旅の途中，一人の女性が立ち寄った喫茶店はカフェラテとミネストローネしかメニューがない奇妙な店だった。旅の理由を話し始めた女性。そこへ男が来店してアメリカンコーヒーを注文するが，マスターは淹れようとしない。アメリカンコーヒー協会の一員であるこの男は，マスターがカフェラテ協会の一員だと確信し，拳銃を向けた。鳴り響く銃声。その刹那，女性の脳裏には殺された父の姿が過ぎる。「裁き」「復讐」「権力」様々な理由で銃を手にする者達。たかがコーヒーのため，しかし，自分のコーヒーを愛するが故に対立してしまう。

【部員大募集】

役者はもちろん，演出・舞台美術・音響・照明・衣装のほか，ポスター・パンフレットといった制作・広報も自分たちで行っています。大学から演劇をはじめた部員が大半です。演劇に興味はあるけれど…と悩んでいるアナタ！ぜひ一度，見学においでください。部員一同お待ちしております。

※活動日※　毎週火・金曜日　16：30～（場所：就実大学　T611　音楽教室）
　　毎週木曜日　　16：30～（場所：岡山商科大学　演劇部室）

(岡山商科大学演劇同好会)

エッセー 数珠つなぎ

「岡山の意外な地域性」

経営学部商学科　講師　大石 貴之

岡山商科大学に赴任して間もなく1年が経とうとしていますが、この1年間は私にとって新たな発見の連続でした。私が専門とする地理学では、地域性の差異を明らかにすることが大きなテーマのひとつとなっているのですが、岡山県はおろか中国地方に滞在するということが初めての経験である私にとって、日々の生活で起こる何気ない現象がとても興味深く感じるのです。

中でも、面白いのが方言。いわゆる岡山弁は広島弁などと同じく中国方言の一部であるといわれていますが、他の地域で話される方言といくつかの共通点を確認することができます。例えば、「エライ」という言葉。私が大学･大学院時代を過ごした関東地方では、「エライ」は「偉い」という意味しかありませんが、ご存じのように岡山弁で「エライ」は「偉い」の他に「疲れる」という意味を持っています。これは岡山に限ったことではなく、私の生まれ育った静岡県西部でも同じように「疲れる」の意味で遣われています。ですから、学生が遅刻ギリギリで教室にやってきて、「走ってきたからエライ。」なんて言っていると、地元に帰ったような懐かしさを覚えます。

方言以外にも地域性の発見があります。例えば、スーパーの鮮魚コーナーに行くとサワラの刺身をよく目にします。サワラは関東地方や中部地方でも焼いたり揚げたりして食べられる魚ですが、刺身で提供されているのを見たことはありませんでした。地理学的にみれば、サワラやサバなどの青魚を好んで食べる習慣は、瀬戸内地域から中部地方の太平洋沿岸にかけて共通する特徴なのですが、いろいろと調べてみると、鮮度の良いサワラを刺身にして食べるのは岡山県周辺の特徴であることがわかりました。魚の売られ方ひとつをとってみても、そこには岡山ならではの特徴があることに気づきます。

このように、普段の何気ない生活から、岡山の特徴を感じ取る毎日を過ごしています。方言や魚から、地域性を感じるのは私くらいでしょうが、皆さんも他の地域に旅行に出かけた際には、こうした人々の暮らしから岡山との違いや共通点を見つけてみるのも面白いかもしれません。

作家の視点

江戸川乱歩賞作家　石井敏弘
本学非常勤講師（第十七期商学部卒）

ある女性歌手が結婚発表時に、「売れ残らなくて良かった」という発言をしたことが、しばらく前に騒動を引き起こしたことがあります。これは本来、彼女の自虐的な意味も含めての、たんに「ほっとした」という意味での悪気のない発言だったと聞きます。

ところが、一部の世間ではこのたった一言で、彼女のこれまでの活動や人格まで否定するという動きが起きてしまった。彼女と同世代、あるいはそれよりも年上で独身の女性たちは、それじゃ「売れ残り」なのかということで、非難が集中してしまったわけです。

これは「うかつな発言であった」と指摘されてしまえばそれまでかもしれませんが、政治家でもあるまいし、個人の結婚に関する安堵を漏らしただけで、ここまで過剰な反応が惹起されてネット上で袋叩きに遭ってしまう現実に、寛容さを失った社会の一断面を見る思いがします。

一昔前ならこのような表現は当たり前に使われていたものであり、微笑みを持って受け入れられていたはずです。よかったね、と。

インターネットの普及、誰でもそれを使いこなし、情報をキャッチする、あるいは逆に発信するという時代になり、私たちはかつてとはまったく異なる世界に身を置くようになったのですが、やはりどのような出来事にもマイナス面が存在します。

このような世相がこれからも蔓延し続けるとすれば、おそらく私たちは恐ろしく神経質にならなければ、ろくに発言もできない世の中になってしまうでしょう。それは、本当の息苦しい社会です。

人を許す、認める。否定の対極にあるこれらの想いだけが、その悪夢のような社会を変え得るのですが、ネット社会になってもやはり問題は人の心の中にあると痛感する昨今であります。

Asia Report アジアレポート

孔子学院便り

(10)伝統芸術鑑賞会

2014年10月25日、中国文化の普及を市民に図る事を目的として「伝統芸術鑑賞会」を開催した。大連外国語大学民族楽団の教師及び学生による二胡、古箏、琵琶の合奏や独奏などが披露され、約100名の参加者があった。

(11)大学祭出店

2014年10月25日～26日、岡山商科大学大学祭に出店し、国家漢弁から送られてきた中国文化に関する資料を展示し、数多くの大学祭の来場者に孔子学院の活動をアピールした。

(12)中医学健康法講座

2014年11月22日、「中医学健康法講座――耳ツボと健康」を開催した。学校法人兵庫医科大学　中医薬孔子学院　副学院長（北京中医薬大学鍼灸推拿学部　教授）　邬继红先生を講師に招き、健康にいいとされている耳のツボについて詳しく紹介し、参加者一人一人にこれらのツボの探し方を指導した。講座の後半、邬继红先生は参加者の質問に対し詳しく説明した。約50名の参加者があった。

(13)津山商業高校生との交流会

2014年10月～12月、孔子学院のプロジェクト「小中高向け中国文化普及講座」として、遠隔通信システムによる中国文化講座を開催した。

最終回の2014年12月20日、岡山県立津山商業高校で中国文化交流会を行われ、高校生たちと孔子学院のスタッフや留学生達と共に餃子を作った。津山商業高校校長先生も含め、教職員10名は皆さんと一緒に水餃子を食べながら、中国の文化、生活習慣について話をした。その後、高校生たちは太極拳と中国結び作りを体験しながら盛んな交流を行った。約20名の参加者があった。

(14)ウィンターキャンプ・教育関係者訪中団

2014年12月25日より30日までの6日間、「ウィンターキャンプ・高校校長訪中団」として提携校である大連外国語学院大学に9名の学生と5名の高校校長、教頭、国際交流教育関係者を派遣した。

孔子学院 2014 年度教学及び文化活動状況

日常教学業務

番号	講義名称	講義の対象	クラス数	学生数
1	前期中国語講座（入門、初級、中級、上級）	学生、社会人	11	60
	後期中国語講座（入門、初級、中級、上級）	学生、社会人	11	49
2	特訓コース	社会人	2	3
3	太極拳コース	社会人	2	10
4	子どもコース	小学生	3	25
5	初級中国語	学部生	4	240
6	出前中国語講座（高校への派遣）	高校生	3	180
7	RSKラジオ講座	一般リスナー	50	約8万

市場開拓及び文化推進業務

番号	活動名称及び概略	対象とする人	参加者の延べ人数
1	春節交流会	社会人及び学生	95
2	第1回中国文化サロン（二胡）	社会人及び学生	37
3	端午節交流会	社会人及び学生	61
4	中国語朗読コンテスト	高校生、大学生、社会人	9
5	子ども向け中国文化講座	小学生及び保護者	22
6	太極拳教室	一般市民	15
7	料理教室	一般市民	15
8	青少年中国文化体験ツアー in 燕趙園	小中学生及び保護者	40
9	孔子学院の日	社会人及び学生	約200
10	伝統芸術鑑賞会	社会人及び学生	約100
11	大学祭出店	社会人及び学生	多数
12	中医学健康法講座 －耳ツボと健康－	一般市民	約50
13	遠隔通信システムによる中国文化普及講座（10 月から計 6 回）	高校生	60
14	ウィンターキャンプ 教育関係者訪中団	学生・教育関係者	13

「日本事情」課外授業　「後楽園」と「岡山城」の見学研修

11月８日（土）薄雲りの早朝、私たち日本事情受講生は胸をはずませて、６名の引率の先生と一緒に99名は２台の学園バスに分乗して、後楽園へ向かいました

後楽園の入口周辺はちょっとした広場で散歩にもってこいの感じでした。後楽園に入った直後は木や花が多くあり、期待した庭園の雰囲気ではありませんでした。しかし、親切なボランティアガイドさんの案内でもう一歩後楽園に踏み込んだ瞬間、すっかり心をうばわれました。ここが日本三名園の一つであることがよくわかりました。広い平原のような芝生、ゆったりした曲水の流れ、風景に溶け込んでいる建物のたたずまいなどの日本庭園の素晴らしさに魅了されました。特に驚かされたのは、郭沫若の詩碑でした。岡山に遊学して、郭沫若が後になって２羽の丹頂鶴を贈った事跡がよくわかりました。中日両国の友好関係の歴史を知りました。４つのグループに分かれて、園内を堪能した後は、お茶屋で抹茶と吉備団子も楽しみました。「後楽園」という名前の由来は中国の北宋の書『岳陽桜記』にある先憂後楽だそうで、豊かな意味と歴史を深く感じました。

次に、南門から庭園の外へ出て、天守閣を仰ぎ見ながら大きな橋を渡って岡山城へと歩を進めました。実戦向きに建造された岡山城の威風に感嘆しました。全員が一団となって、城内を隈無く博学のボランティアガイドさんが案内をしてくれて岡山の歴史がよく理解できました。最上層の天守閣からは素晴らしい岡山の風景が一眺できました。お城の広場では、テレビ局のインタビューを受け、貴重な体験もしました。その国の宝を探すなら、首都を離れて他の地域に行くのが良いという言葉通り、この岡山で「宝石」を見つけた気がしました。

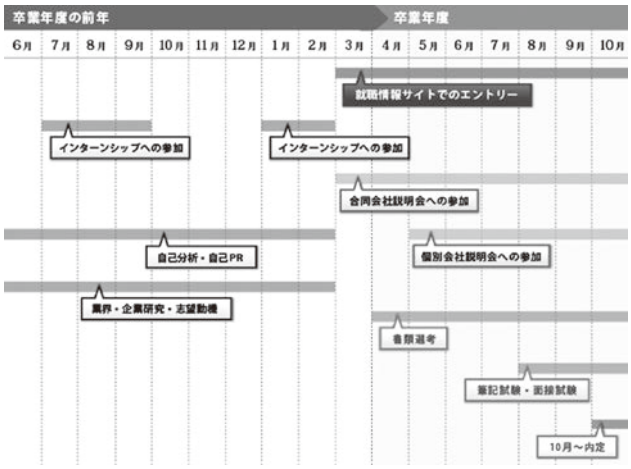
私たちのために親切に案内してくれたボランティアの方々とこのような課外授業を企画した大学に本当に感謝しています。交換留学が終わって帰国したら知人や家族に岡山の魅力を訪ねるように話します。本当に楽しく素晴らしい有意義な一日になりました。

（日本事情受講生　陳珏汝、金旼柱、余立、金煥奉）

キャリアセンター便り

新4年生、新就活スケジュールスタート。失敗を恐れずにまずはやってみる!!

2016年3月卒業予定者の就職解禁時期が3年生の12月から3月へ、企業の採用試験開始時期が4年生の4月から8月へ後ろ倒しされまた。企業は3月解禁を概ね遵守しておりますがインターンシップの名を借りた会社説明会を3月前に開催した企業もあります。採用試験については大多数の企業が8月以前に実施することを断言しており実質的には3月から本格的な就職戦線がスタートしました。2015年3月卒までの学生は何社か選考試験に失敗、弱点を克服しながら徐々に成長し、内定を獲得することも可能でしたが2016年3月卒からは短期決戦です。「失敗を恐れずにまずはやってみる」というチャレンジ精神のある学生が就職戦線を勝ち抜くことになるでしょう。



新3年生（2017年3月卒業予定者）対象
「進路・就職対策講座」開催予定日

第1回 進路・就職対策講座 <6月17日(水)>
仕事ができそうな学生と思われたい!!

第2回 進路・就職対策講座 <10月7日(水)>
こんな会社でこんな風に仕事がしたい!!

第3回 進路・就職対策講座 <12月2日(水)>
エントリーシート＆履歴書

第4回 進路・就職対策講座 <12月9日(水)>
個人面接＆グループディスカッション

第5回 進路・就職対策講座 <12月16日(水)>
リクルートスーツ＆マナー

第6回 進路・就職対策講座<1月13日(水)>
就職活動の戦い方を組み立てる!!

第7回 進路・就職対策講座<2月10日(水)>
90分でわかる就職活動～合説の回り方～

第8回 進路・就職対策講座<2月24日(水)>
3/1、就活スタート。
スタートダッシュに負けるな商大生!!

Information 情報アラカルト

山陽新聞賞 教育功労 受賞

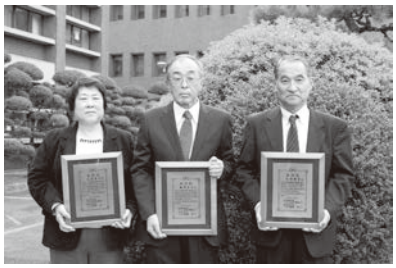
2015年1月8日、
贈呈式にて

地域社会への貢献をたたえる山陽新聞賞について、鳥越良光大学院特任教授が第73回山陽新聞賞「教育功労」を受賞されました。長年にわたる教育分野での活躍が評価されたものです。

発表は2015年1月3日（土）付け山陽新聞紙面で行われました。記事の中では、専門分野であるマーケティング論に基づく深い知見により、企業への助言や行政の審議会などを通じて、地域の発展に尽くしたと紹介されました。

（総務企画課）

商工会議所からの表彰



平成26年11月28日（金）10:30～岡山商工会議所会議室に於いて、平成26年度岡山商工会議所優良従業員表彰式あり、113名が表彰されました。これは同一事業所において30年以上勤務した方が表彰されます。本学からは大倉京子（勤続41年）、相澤泰憲（勤続38年）、仁科昭宣（勤続38年）の3名が表彰されました。

「岡山商科大学に永年に亘り勤務したことが評価されたことに対しまして、学長、教職員関係者に感謝の意を表しますとともに、残された在職期間を大切にして最善を尽くし、大学に少しでも貢献できたらという気持ちになりました。（入試部・仁科昭宣）」

（総務企画課）

2014年度・部活動の主な戦績

ウェイトトレーニング部	山口　明尭	2年	岡山県ベンチプレス選手権	個人	2位	浜田商業高校（島根）
ウェイトトレーニング部	山口　明尭	2年	第16回近畿クラシックパワーリフティング選手権	個人	1位	浜田商業高校（島根）
ウェイトトレーニング部	山口　明尭	2年	第5回赤穂忠臣蔵パワーリフティング選手権	個人	1位	浜田商業高校（島根）
弓道部			第26回全国大学弓道選抜大会	男子団体	出場	
弓道部			第26回全国大学弓道選抜大会	女子団体	出場	
弓道部	人見　早紀	2年	第47回中国学生弓道競技大会	個人	最高的中者賞	興陽高校（岡山）
弓道部	樋口　竣介	4年	第47回中国学生弓道競技大会	個人	優秀射士	玉野光南高校（岡山）
弓道部			第58回西日本学生弓道選手権大会	個人･団体	出場	
弓道部	堀口　宗克	1年	第9回岡山市弓道連盟交流射会（藤村会）	個人	2位	香川県大手前高校（香川）
弓道部	人見　早紀	2年	平成26年岡山県弓道連盟納射会	個人	1位	興陽高校（岡山）
弓道部			平成26年度岡山県学生春季女子リーグ戦（Ⅱ部）	女子団体	3位	
弓道部			平成26年度岡山県学生春季男子リーグ戦（Ⅱ部）	男子団体	1位	

硬式野球部	高橋　昌寛	1年	第28回中国地区大学野球新人戦	個人	敢闘賞	
硬式野球部	松岡　敬士	2年	第28回中国地区大学野球新人戦	個人	首位打者賞	
硬式野球部			第28回中国地区大学野球新人戦	団体	準優勝	
ゴルフ部	荒木　翔也	3年	第32回中四国学生ゴルフ連盟会長杯争奪戦	個人	2位	倉敷工業高校（岡山）
ゴルフ部	井上龍太郎	3年	第32回中四国学生ゴルフ連盟会長杯争奪戦	個人	3位	岡山県作陽高校（岡山）
ゴルフ部	井上龍太郎	3年	第69回国民体育大会ゴルフ競技岡山県予選会	個人	3位	岡山県作陽高校（岡山）
ゴルフ部			平成26年度中四国学生春季1部校対抗戦	団体	2位	
柔道部	大野　提亮	2年	全日本ジュニア柔道体重別選手権大会岡山県予選会	個人	1位	関西高校（岡山）
柔道部	石飛　拓	1年	全日本ジュニア柔道体重別選手権大会岡山県予選会	個人	1位	平田高校（島根）
柔道部	石飛凜太郎	2年	全日本ジュニア柔道体重別選手権大会岡山県予選会	個人	2位	平田高校（島根）
柔道部	渡邊　佑太	2年	全日本ジュニア柔道体重別選手権大会岡山県予選会	個人	2位	尽誠学園高校（香川）
柔道部	宮内　寿和	1年	全日本ジュニア柔道体重別選手権大会岡山県予選会	個人	2位	初芝橋本高校（奈良）

Information
情報アラカルト

柔道部	井筒新一郎	2年	全日本ジュニア柔道体重別選手権大会岡山県予選会	個人	3位	神戸国際大学附属高校(兵庫)
柔道部	松村　文弥	2年	全日本ジュニア柔道体重別選手権大会岡山県予選会	個人	3位	平田高校(島根)
柔道部	村上　賢耶	2年	全日本ジュニア柔道体重別選手権大会岡山県予選会	個人	3位	岡山理大附属高校(岡山)
柔道部	鈴木　唯人	1年	全日本ジュニア柔道体重別選手権大会岡山県予選会	個人	3位	関西高校(岡山)
柔道部	田中　竜太	1年	全日本ジュニア柔道体重別選手権大会岡山県予選会	個人	3位	早鞆高校(山口)
柔道部	河合賢太郎	3年	第69回国民体育大会岡山県予選会	個人	1位	大阪体育大学浪商高校(大阪)
柔道部	井筒新一郎	2年	第69回国民体育大会岡山県予選会	個人	1位	神戸国際大学附属高校(兵庫)
柔道部	渡邊　佑太	2年	第69回国民体育大会岡山県予選会	個人	2位	尽誠学園高校(香川)
柔道部	伊折　　駿	3年	第69回国民体育大会岡山県予選会	個人	3位	崇徳高校(広島)
柔道部	植田　雅崇	1年	第69回国民体育大会岡山県予選会	個人	3位	天理高校(奈良)
柔道部			平成26年度全日本学生柔道優勝大会	男子団体	出場	
柔道部			平成26年度中四国学生柔道優勝大会	男子団体	優勝	
ソフトテニス部			第90回岡山県学生ソフトテニス大会	団体	ベスト8	
卓球部	伊藤　幸大	4年	第65回中国学生卓球選手権春季大会	ダブルス	2位	高知工業高校(高知)
卓球部	王　　甲	2年	第65回中国学生卓球選手権春季大会	ダブルス	2位	出雲北陵高校(島根)
卓球部			第65回中国学生卓球選手権春季大会	男子団体	準優勝	
卓球部	伊藤　夕貴	3年	第65回中国学生卓球選手権春季大会	シングルス	準優勝	山陽女子高校(岡山)
卓球部	伊藤　夕貴	3年	第65回中国学生卓球選手権春季大会	ダブルス	優勝	山陽女子高校(岡山)
卓球部	岩切　　楓	2年	第65回中国学生卓球選手権春季大会	ダブルス	優勝	宮崎商業高校(宮崎)
卓球部	陳　　俊雅	3年	第65回中国学生卓球選手権春季大会	シングルス	優勝	日本航空高校石川(石川)
卓球部	王　　甲	2年	第65回中国学生卓球選手権春季大会	シングルス	優勝	出雲北陵高校(島根)
卓球部			第65回中国学生卓球選手権春季大会	女子団体	優勝	
卓球部			第6回南日本学生卓球選手権	女子団体	3位	
卓球部	伊藤　夕貴	3年	第6回南日本学生卓球選手権	ダブルス	3位	山陽女子高校(岡山)
卓球部	岩切　　楓	2年	第6回南日本学生卓球選手権	ダブルス	3位	宮崎商業高校(宮崎)
卓球部	王　　甲	2年	第6回南日本学生卓球選手権	シングルス	準優勝	出雲北陵高校(島根)
卓球部			第6回南日本学生卓球選手権	男子団体	準優勝	
日本拳法部	木山日菜子	1年	第15回日本拳法岡山県総合選手権	個人	3位	倉敷中央高校(岡山)
日本拳法部	山口　明尭	2年	第15回日本拳法岡山県総合選手権	個人	優勝	浜田商業高校(島根)
日本拳法部			第27回全国大学選抜選手権大会	男子団体	出場	
ボウリング部	高淵　　玲志	4年	NHK杯争奪第48回全日本選抜ボウリング選手権大会	個人	出場	商大附属高校(岡山)
陸上競技部	宮本　泰成	2年	岡山学生陸上競技選手権	100m	1位	光高校(山口)
陸上競技部	濱崎　貴行	4年	岡山学生陸上競技選手権	円盤投	1位	鳥取工業高校(鳥取)
陸上競技部	坂野　亮次	1年	岡山学生陸上競技選手権	走高跳	2位	益田東高校(島根)
陸上競技部	永井　孝英	3年	岡山学生陸上競技選手権	三段跳	2位	楊志館高校(大分)
陸上競技部	門脇　　凌	4年	岡山学生陸上競技選手権	100m	3位	開星高校(島根)
陸上競技部	牛尾　貴明	2年	岡山学生陸上競技選手権	110mH	3位	明誠高校(島根)
陸上競技部	中谷　泰規	4年	岡山学生陸上競技選手権	円盤投	3位	津田高校(香川)
陸上競技部	周田　　滉	1年	岡山県実業団･学生対校陸上競技選手権	1500m	1位	明誠高校(島根)
陸上競技部	石橋　　健	3年	岡山県実業団･学生対校陸上競技選手権	走高跳	1位	大社高校(島根)
陸上競技部	永井　孝英	3年	岡山県実業団･学生対校陸上競技選手権	三段跳	1位	楊志館高校(大分)
陸上競技部	太田　拓也	3年	岡山県実業団･学生対校陸上競技選手権	110mH	2位	岡山工業高校(岡山)
陸上競技部	濱崎　貴行	4年	岡山県実業団･学生対校陸上競技選手権	円盤投	2位	鳥取工業高校(鳥取)
陸上競技部	宮本　泰成	2年	岡山県実業団･学生対校陸上競技選手権	100m	3位	光高校(山口)
陸上競技部	桑田　大貴	3年	岡山県実業団･学生対校陸上競技選手権	400m	3位	山口県鴻城高校(山口)
陸上競技部	平棟　　健	3年	岡山県実業団･学生対校陸上競技選手権	110mH	3位	神辺旭高校(広島)
陸上競技部	坂野　亮次	1年	岡山県実業団･学生対校陸上競技選手権	走高跳	3位	益田東高校(島根)
陸上競技部	石橋　　健	3年	中四国学生対校陸上競技選手権	走高跳	優勝	大社高校(島根)
陸上競技部	石橋　　健	3年	中四国学生陸上競技選手権	走高跳	1位	大社高校(島根)
陸上競技部	平棟　　健	3年	中四国学生陸上競技選手権	110mH	3位	神辺旭高校(広島)
陸上競技部	濱崎　貴行	4年	中四国学生陸上競技選手権	円盤投	3位	鳥取工業高校(鳥取)
陸上競技部			第35回中四国私立大学対校陸上競技選手権大会	男子総合	準優勝	
陸上競技部	大久保圭吾	4年	第35回中四国私立大学対校陸上競技選手権大会	800m	1位	野村高校(愛媛)
陸上競技部	石橋　　健	3年	第35回中四国私立大学対校陸上競技選手権大会	走高跳	1位	大社高校(島根)
陸上競技部	門脇　　凌	4年	第35回中四国私立大学対校陸上競技選手権大会	200m	2位	開星高校(島根)
陸上競技部	林　　高純	3年	第35回中四国私立大学対校陸上競技選手権大会	800m	2位	玉野商業高校(岡山)
陸上競技部	太田　拓也	3年	第35回中四国私立大学対校陸上競技選手権大会	110mH	2位	岡山工業高校(岡山)
陸上競技部			第35回中四国私立大学対校陸上競技選手権大会	4×100mR	2位	
陸上競技部			第35回中四国私立大学対校陸上競技選手権大会	4×400mR	2位	
陸上競技部	永井　孝英	3年	第35回中四国私立大学対校陸上競技選手権大会	三段跳	2位	楊志館高校(大分)
陸上競技部	宮本　泰成	2年	第35回中四国私立大学対校陸上競技選手権大会	100m	3位	光高校(山口)
陸上競技部	松井　拓人	1年	第35回中四国私立大学対校陸上競技選手権大会	5000m	3位	尽誠学園高校(香川)
陸上競技部	平棟　　健	3年	第35回中四国私立大学対校陸上競技選手権大会	110mH	3位	神辺旭高校(広島)
陸上競技部	牛尾　貴明	2年	第35回中四国私立大学対校陸上競技選手権大会	400mH	3位	明誠高校(島根)
陸上競技部	香川　雅人	3年	第35回中四国私立大学対校陸上競技選手権大会	3000mSC	3位	鳥取城北高校(鳥取)
陸上競技部	坂野　亮次	1年	第35回中四国私立大学対校陸上競技選手権大会	走高跳	3位	益田東高校(島根)
陸上競技部			津山駅伝競走	一般の部	優勝	
陸上競技部	石橋　　健	3年	日本学生対校陸上競技選手権	走高跳	出場	大社高校(島根)
陸上競技部	石橋　　健	3年	全山陰陸上競技選手権	走高跳	1位	大社高校(島根)
陸上競技部	曽我部　亮	1年	全山陰陸上競技選手権	ハンマー投	2位	今治明徳高校(愛媛)
陸上競技部	坂野　亮次	1年	全山陰陸上競技選手権	走高跳	2位	益田東高校(島根)
陸上競技部	濱崎　貴行	4年	全山陰陸上競技選手権	円盤投	2位	鳥取工業高校(鳥取)
陸上競技部	牛尾　貴明	2年	全山陰陸上競技選手権	400mH	3位	明誠高校(島根)
陸上競技部	門脇　　凌	4年	全山陰陸上競技選手権	200m	3位	開星高校(島根)

(学生課)

資格取得・合格者の声

宅地建物取引士資格試験

経営学部商学科４年　赤澤聖治

私は２年次に日建学院が行っている宅建Eラーニングで勉強を始めました。いざ勉強してみると、参考書の出題範囲が広いうえに、普段馴染みのない民法や借地借家法などの法律用語が多く、同じ箇所を何度も読み返すこともあり、なかなか勉強がはかどりませんでした。結果は残念ながら不合格。しかし、４年次になり、就職活動も一段落ついたため、再挑戦をすることにしました。２年次は暗記を中心とする勉強していたため、効率が悪いだけでなく、モチベーションも上がりませんでした。その反省をふまえて、今回は問題文を正確に理解すること、書いてあることを頭でイメージすることを強く意識しました。また、長い文章は図にして何が言いたいことなのかを明確にしました。そうしなければ、過去の問題に出ていないようなひねった問題には対応できないと考えたからです。もちろん、相当な量の勉強も必要です。試験直前には過去問題10年分と予想問題10回分を６回繰り返し勉強しました。そのため、合格証書が届いた時の喜びは格別でした。

宅建は全力で挑戦し、諦めなければ必ず合格できます。また、就職活動の際も業種によっては宅建資格により有利になる企業もあります。宅建取得のメリットは色々とありますが、私が特に勉強してよかったと思ったことは、普段大学で学んでいる商学の知識と今回の試験で身につけた法律の知識などを組み合わせることでより幅の広い考えを持つことができるようになったということです。こうした考えを持てるようになったことは大きな収穫であり、私の人生にもプラスに働いてくれると思っています。

ファイナンシャルプランニング技能士検定　2級

経営学部商学科３年　往田裕次

私はＦＰ（ファイナンシャルプランニング）コースに所属しており、大学一回生のときからＦＰに関する講義を受講していました。ＦＰ３級技能士検定では、ＦＰに関する講師の方々が当大学は充実しているため講義をしっかりと聞くだけでも十分に合格することができますが、ＦＰ２級技能士検定はそう簡単にはいきません。そもそもＦＰ技能士検定は、筆記と実技の２科目を合格してはじめて検定合格となります。また、科目も６科目あり、覚える量はとても多いです。毎年の合格率も２割から３割となっています。そのため、大学での講義はもちろんのこと、加えて日々の積み重ねがとても重要となってきます。私はあまり覚えるのが得意ではないので、大学にいる間は、学校までの通学や講義と講義の間など、時間を見つけては勉強をしていました。また、自宅でもご飯を食べるときやお風呂に入るときなど、寝るとき以外は常にＦＰの参考資料を持ち歩いていました。とにかく勉強時間を相当費やしました。また、勉強の仕方もただただ参考資料を読むだけではなく、過去問題を繰り返し解いたり、項目ごとにポイントを絞って勉強するなど勉強方法の工夫も大切になってきます。以上のことを毎日繰り返しやることで合格することができました。

人それぞれ覚えられる量など違いはありますが、これも勉強方法の一つとして皆さんの参考になれば幸いです。興味がある方や受験をする方はぜひ頑張ってください。　（商大塾）

Information
情報アラカルト

～ 開学50周年記念事業の目玉 ～ キャンパスのリニューアル

開学50周年を機に、キャンパスのリニューアルを行います。

学生、教職員の意見･要望をしっかり取り入れて、キャンパス全体をトータルに見直すことにし、全国的に有名な神戸の「いるか設計集団」に設計を依頼しています。

現在、基本計画、基本設計、実施設計が終わり、開学記念式典が行われる5月頃から本格的な工事に入り、来年3月には完成する予定です。

今回のリニューアルの特徴は、ただ建物を改築するというものではなく、庭園、通路、広場、植栽、サイン、人の導線なども含めて総合的に点検して、夢のある 快適なキャンパス空間を生み出そうというところにあります。もちろん、懸案となっていた快適なトイレの整備、喫煙対策、学生達の交流スペースの整備なども計画に盛り込んでいます。

中庭～6号館(イメージ)

学生会館前(イメージ)

大きく変わるのは、4号館を取り壊した跡地と、噴水広場、2号館、6･7号館の一体的な整備です。このスペースは、学園際、音楽イベントなど多目的に利用できるようにするとともに、学生達がくつろげるオープンカフェのような施設も予定しています。

また、学生会館の1階の食堂と2階を内部階段でつなぎ、2階を学生達の休憩･自習スペースにすることも計画しています。

全体的には、建物の改修、緑豊かな空間づくり、アスファルト路盤の改良などを行い、1年後には、間違いなく、皆さんが納得できるイメージ一新の快適なキャンパス空間が誕生することになります。

（事務局長）

学位記授与式･入学宣誓式のご案内

学位記授与式

2015年3月22日(日)
10時30分～

入学宣誓式

2015年4月3日(金)
10時30分～

※いずれも体育館

（総務企画課）

卒業記念パーティーについてのご案内

卒業される皆様方を祝しまして卒業記念パーティーを開催いたします。

パーティーでは食事やビンゴ大会など様々な企画を用意しており卒業される皆様方に楽しんで頂ける、有意義な時間になると思います。

参加費は無料となっております。皆様お誘い合わせのうえぜひご出席くださいますようご案内申し上げます。

日　時：2015年3月22日(日)
12時30分～　受付開始
13時～　開宴
15時～　閉宴
会　場：学生会館1階食堂
参加費：無料

（学生課）

慶應MCC 夕学サテライト 2015年度前期 開催予定

●開催時間　18:30～20:30(開場18:00)
●会　　場　岡山商科大学　7号館781教室
●受 講 料　パスポート券(15回)10,000円
受講券(1回)1,200円

※3月1日現在の予定であり、変更になることがあります。

4月7日(火)　<人の力を信じる経営>
田村 次朗　(たむら　じろう)
慶應義塾大学法学部 教授
ハーバード大学国際交渉学プログラム･インターナショナル･アカデミック･アドバイザー
「「三方よし」の対話力 ～問題解決のための戦略的交渉学入門～」

4月10日(金)　<人の力を信じる経営>
唐池 恒二　(からいけ　こうじ)
九州旅客鉄道株式会社 代表取締役会長
「夢みる力が「氣」をつくる」

4月14日(火)　<極人に聞く>
ヤマザキマリ
漫画家
「辺境のない生き方」

4月17日(金)　<技術と戦略が拓く近未来>
山田 英夫　(やまだ　ひでお)
早稲田大学ビジネススクール 教授
「競争しない競争戦略」

5月12日(火)　<極人に聞く>
五木 寛之　(いつき　ひろゆき)
作家
「涙と笑い」
※講演90分のみ、質疑応答はありません。

5月22日(金)　<人の力を信じる経営>
松本 晃　(まつもと　あきら)
カルビー株式会社 代表取締役会長兼CEO
「カルビーはどうやって変わったのか」

5月26日(火)　<極人に聞く>
川村 元気　(かわむら　げんき)
映画プロデューサー･小説家
「企画における“発見”と“発明”」

6月4日(木)　<気鋭の論客に聞く>
水野 和夫　(みずの　かずお)
日本大学国際関係学部 教授
「資本主義の終焉と歴史の危機」

6月9日(火)　<文化と歴史で世界を読み解く>
千住 博　(せんじゅ　ひろし)
画家･京都造形芸術大学 教授
「日本の美、世界の美」

6月17日(水)　<人の力を信じる経営>
遠藤 功　(えんどう　いさお)
早稲田大学ビジネススクール 教授、
株式会社ローランド･ベルガー 会長
「現場力を鍛える ～「非凡な現場」をつくるために～」

6月22日(月)　<社会の問題解決に挑む>
山本 雄士　(やまもと　ゆうじ)
株式会社ミナケア 代表取締役
「投資型医療という社会イノベーション」

7月1日(水)　<極人に聞く>
山下 洋輔　(やました　ようすけ)
ジャズ･ピアニスト、国立音楽大学招聘教授
「魂の音楽 ジャズの魅力」

7月7日(火)　<気鋭の論客に聞く>
伊藤 元重　(いとう　もとしげ)
東京大学大学院経済学研究科 教授
「国際経済と日本の課題」

7月16日(木)　<社会の問題解決に挑む>
村木 厚子　(むらき　あつこ)
厚生労働事務次官
「女性がいきいきと働く社会」

7月22日(水)　<気鋭の論客に聞く>
冨山 和彦　(とやま　かずひこ)
株式会社経営共創基盤 代表取締役CEO
「日本はローカル経済で甦る」

■お問合せ先
●岡山商科大学社会総合研究所
〒700-8601　岡山市北区津島京町2-10-1
TEL086-256-6656

（社会総合研究所）

●ご意見･ご感想等は、総務企画課学報担当まで　E-Mail／kouhou@po.osu.ac.jp

発行所　岡山商科大学
〒700-8601 岡山市北区津島京町2丁目10-1
電話(086)252-0642(代)
印刷　山陽印刷株式会社

©2015　岡山商科大学